

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2014年9月10日

発行者ELIC編集委員会谷口利男
105-0004 東京都港区新橋4-24-3
Tel/Fax (03) 6450-1777 エムエフ新橋601
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

No 321

1部100円

「戦争する国」に危険を警鐘！

410万4911人の署名を代表に手渡す

核兵器のない平和で公正な世界のためにというスローガンで原水爆禁止2014年世界大会が8月4日から6日まで広島市で開かれました。今年の世界大会は来年の被爆70年、NPT（核不拡散条約）再検討会議に向かって、世界的な行動を起こそうと呼びかける重要な大会です。核兵器をめぐる最近の国際的な流れは、核兵器の持つ非人道性が大きく取り上げられ、核兵器廃絶のうねりを作り出しています。

主催者挨拶をした国際会議宣言起草委員長富田宏治さんは「日本は本来、核兵器の無い世界をめざす先頭に立つべきです。なのに「抑止力」だとうそぶいて「戦争する国」への動きを強めていることに怒りを表明します」と挨拶しました。また日本被団協代表委員の坪井直さんは「いま、政府は怪しい動きをしている。国民を守るといって、戦争で国民を守ったことは一度もありません。皆さん諦めてはいけません。負けてはいけません。ネバーギブアップ！」と力強く訴えました。

今年は初めてとり組まれた国際青年リレー行進した青年たちも登壇しました。国民平和大行進が国際的な取り組みになったのです。6日は平和公園での広島市主催の平和祈念式典が8時から始まり、同52分に終わった後、世界大会開会総会が開かれたグリーンアリーナで閉会総会が開かれました。

閉会総会での大きなイベントは、それまで集められた410万4911人の署名をアンゲラ・ケイン国連軍縮問題担当上級代表に手渡す署名プレ



ゼンテーションでした。来年4月のNPT再検討会議への大きな圧力になるでしょう。潘基文国連事務総長のメッセージを読み上げたケインさんは「核兵器のない平和で公正な社会を達成するまで努力しよう」と呼びかけました。

日本原水協の安井事務局長は行動提起で、原爆写真展、被爆証言などを広げよう、署名を積み上げて来年4月ニューヨークに行こうと訴えました。

（東 健郎）

今月号の紙面

- ①原水爆禁止2014年世界大会
- ②電機懇談会、情勢のポイント
- ③電機懇談会、方針のポイント
- ④ルネサスのリストラ反撃宣伝
- ⑤日立関連リストラ反撃集会へ
電機は4-6決算で大幅増益
- ⑥私の自慢「200年前のお皿」佐野さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧電機懇「第27回総会」の案内
からむす22号普及を、集積回路